

開校年度	2025年度	学科	美容科
科目名	関係法規・制度	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	30時間	履修期	2年次
担当教員			
授業目的	美容師の業務に関係する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を修得しておかなければならない必要性を理解させ、あわせて、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促すこと。 美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させること。		
到達目標	美容師国家試験「関係法規・制度」の合格を目指す。		
授業方法	講義		

	授業計画	授業内容
第1回	導入	衛生管理技術を学習する目的 濃度計算の基礎問題と解説
第2回	第1章 消毒法総論	<美容技術の業務と消毒との関係> 関係法規 消毒を怠った場合の危険と美容師の責任 <美容技術の業務と消毒との関係> まとめ
第3回		<消毒とは> 消毒法の歴史 病原性微生物と日病原性微生物 病原性微生物の種類と構造 消毒の原理 <消毒とは> まとめ
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		<消毒法と適用上の注意> 消毒法の種類 消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用上の注意、保存上の注意点 <消毒法と適用上の注意> まとめ
第8回		
第9回		
第10回		
第11回	<化学的消毒法> アルコール類による消毒、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒	
第12回	テスト	前期テスト
第13回		テスト 問題の解答と解説

	授業計画	授業内容
第14回	第2章 消毒法各論	界面活性剤(逆性せっけん、両性界面活性剤)による消毒
第15回		グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬 <化学的消毒法> まとめ
第16回		<すぐれた消毒法とその実施上の注意> 優れた消毒法の条件

第16回		消毒御行際の注意事項 ＜すぐれた消毒法とその実施上の注意＞ まとめ
第17回	第3章 消毒法実習	＜各種消毒薬＞ 消毒薬の概要 器具の使い方 常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度
第18回		
第19回		消毒薬希釈法 ＜各種消毒薬＞ まとめ
第20回		
第21回		＜美容所の消毒の実際＞ 美容所における消毒の原理 美容所の消毒設備 美容器具の消毒法 美容師の手指の消毒 その他のものの消毒 美容所の消毒設備の現状 ＜美容所の消毒の実際＞ まとめ
第22回		
第23回		＜美容所の清潔法の実際＞ 清潔保持と清掃 洗剤による清浄法 洗い場の構造と清潔保持 清掃、刈り取った毛の処理
第24回		
第25回	テスト	後期テスト
第26回		テスト 問題の解答と解説
第27回	国家試験対策	総まとめ、模擬試験による演習
第28回		
第29回		
第30回		
第31回		

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	%	定期試験	%
	小テスト	%	レポート	%

開校年度	2019年度	学科	美容科
科目名	運営管理 I	実務経験のある教員等の授業	○
授業時間	30時間	履修期	1年次
担当教員			
授業目的	経営管理及び労務管理に基本的事項を学習することによって、美容業における運営管理手法の重要性を認識させ、美容所の運営に役立たせること。 美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること。		
到達目標	美容師国家試験「運営管理」の合格を目指す。		
授業方法	講義		

	授業計画	授業内容
第1回	導入	衛生管理技術を学習する目的 濃度計算の基礎問題と解説
第2回	第1章 消毒法総論	<美容技術の業務と消毒との関係> 関係法規 消毒を怠った場合の危険と美容師の責任
第3回		<美容技術の業務と消毒との関係> まとめ
第4回		<消毒とは> 消毒法の歴史 病原性微生物と日病原性微生物 病原性微生物の種類と構造 消毒の原理
第5回		<消毒とは> まとめ
第6回		<消毒の意義> 汚染、感染、発病、と消毒の意義 消毒、滅菌、殺菌、防腐の定義 <消毒の意義> まとめ
第7回		<消毒法と適用上の注意> 消毒法の種類 消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力
第8回		消毒薬・消毒薬使用駅の使用、保存上の注意点 <消毒法と適用上の注意> まとめ
第9回		第2章 消毒法各論
第10回	<理学的消毒法> まとめ	
第11回	<化学的消毒法> アルコール類による消毒、次亜塩素酸ナトリウム による消毒	
第12回	テスト	前期テスト
第13回		テスト 問題の解答と解説

	授業計画	授業内容	
第14回	第2章 消毒法各論	界面活性剤(逆性せっけん、両性界面活性剤)による消毒	
第15回		グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬 <化学的消毒法> まとめ	
第16回		<すぐれた消毒法とその実施上の注意> 優れた消毒法の条件 消毒御行う際の注意事項 <すぐれた消毒法とその実施上の注意> まとめ	
第17回	第3章 消毒法実習	<各種消毒薬> 消毒薬の概要 器具の使い方 常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度	
第18回		消毒薬希釈法 <各種消毒薬> まとめ	
第19回			<美容所の消毒の実際> 美容所における消毒の原理 美容所の消毒設備 美容器具の消毒法 美容師の手指の消毒 その他のものの消毒 美容所の消毒設備の現状 <美容所の消毒の実際> まとめ
第20回		<美容所の清潔法の実際> 清潔保持と清掃 洗剤による清浄法 洗い場の構造と清潔保持 清掃、刈り取った毛の処理	
第21回			後期テスト
第22回		テスト 問題の解答と解説	
第23回			国家試験対策
第24回			
第25回			
第26回			
第27回			
第28回			
第29回			
第30回			
第31回			

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	%	定期試験	%
	小テスト	%	レポート	%

開校年度	2025年度	学科	美容科
科目名	衛生管理(公衆衛生・環境衛生)	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	30時間	履修期	1年次
担当教員			
授業目的	<p>公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる。</p> <p>美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保とするうえで最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせることが肝要である。</p>		
到達目標	美容師国家試験「公衆衛生・環境衛生」の合格を目指す。		
授業方法	講義		

	授業計画	授業内容
第1回	導入	衛生管理技術を学習する目的 濃度計算の基礎問題と解説
第2回	第1章 消毒法総論	<美容技術の業務と消毒との関係> 関係法規 消毒を怠った場合の危険と美容師の責任
第3回		<美容技術の業務と消毒との関係> まとめ
第4回		<消毒とは> 消毒法の歴史 病原性微生物と日病原性微生物 病原性微生物の種類と構造 消毒の原理
第5回		<消毒とは> まとめ
第6回		<消毒の意義> 汚染、感染、発病、と消毒の意義 消毒、滅菌、殺菌、防腐の定義 <消毒の意義> まとめ
第7回		<消毒法と適用上の注意> 消毒法の種類 消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用駆の使用、保存上の注意点
第8回		<消毒法と適用上の注意> まとめ
第9回		第2章 消毒法各論
第10回	<理学的消毒法> まとめ	
第11回	<化学的消毒法> アルコール類による消毒、次亜塩素酸ナトリウム による消毒	
第12回	テスト	前期テスト
第13回		テスト 問題の解答と解説

	授業計画	授業内容
第14回	第2章 消毒法各論	界面活性剤(逆性せっけん、両性界面活性剤)による 消毒
第15回		グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬 <化学的消毒法> まとめ
第16回		<すぐれた消毒法とその実施上の注意> 優れた消毒法の条件

第16回		消毒御行際の注意事項 ＜すぐれた消毒法とその実施上の注意＞ まとめ
第17回	第3章 消毒法実習	＜各種消毒薬＞ 消毒薬の概要 器具の使い方 常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度
第18回		
第19回		消毒薬希釈法 ＜各種消毒薬＞ まとめ
第20回		
第21回		＜美容所の消毒の実際＞ 美容所における消毒の原理 美容所の消毒設備 美容器具の消毒法 美容師の手指の消毒 その他のものの消毒 美容所の消毒設備の現状 ＜美容所の消毒の実際＞ まとめ
第22回		
第23回		＜美容所の清潔法の実際＞ 清潔保持と清掃 洗剤による清浄法 洗い場の構造と清潔保持 清掃、刈り取った毛の処理
第24回		
第25回	テスト	後期テスト
第26回		テスト 問題の解答と解説
第27回	国家試験対策	総まとめ、模擬試験による演習
第28回		
第29回		
第30回		
第31回		

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	%	定期試験	%
	小テスト	%	レポート	%

開校年度	2019年度	学科	美容科
科目名	衛生管理(感染症)	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	30時間	履修期	1年次
担当教員			
授業目的	<p>公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進について重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる。</p> <p>美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保とするうえで最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせることが肝要である。</p>		
到達目標	美容師国家試験「感染症」の合格を目指す。		
授業方法	講義		

	授業計画	授業内容
第1回	導入	衛生管理技術を学習する目的 濃度計算の基礎問題と解説
第2回	第1章 消毒法総論	<美容技術の業務と消毒との関係> 関係法規 消毒を怠った場合の危険と美容師の責任
第3回		<美容技術の業務と消毒との関係> まとめ
第4回		<消毒とは> 消毒法の歴史 病原性微生物と日病原性微生物 病原性微生物の種類と構造 消毒の原理
第5回		<消毒とは> まとめ
第6回		<消毒の意義> 汚染、感染、発病、と消毒の意義 消毒、滅菌、殺菌、防腐の定義 <消毒の意義> まとめ
第7回		<消毒法と適用上の注意> 消毒法の種類 消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用上の使用、保存上の注意点
第8回		<消毒法と適用上の注意> まとめ
第9回		第2章 消毒法各論
第10回	<理学的消毒法> まとめ	
第11回	<化学的消毒法> アルコール類による消毒、次亜塩素酸ナトリウム による消毒	
第12回	テスト	前期テスト
第13回		テスト 問題の解答と解説

	授業計画	授業内容
第14回	第2章 消毒法各論	界面活性剤(逆性せっけん、両性界面活性剤)による 消毒
第15回		グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬 <化学的消毒法> まとめ
第16回		<すぐれた消毒法とその実施上の注意> 優れた消毒法の条件

第16回		消毒御行際の注意事項 ＜すぐれた消毒法とその実施上の注意＞ まとめ
第17回	第3章 消毒法実習	＜各種消毒薬＞ 消毒薬の概要 器具の使い方 常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度
第18回		
第19回		消毒薬希釈法 ＜各種消毒薬＞ まとめ
第20回		
第21回		＜美容所の消毒の実際＞ 美容所における消毒の原理 美容所の消毒設備 美容器具の消毒法 美容師の手指の消毒 その他のものの消毒 美容所の消毒設備の現状 ＜美容所の消毒の実際＞ まとめ
第22回		
第23回		＜美容所の清潔法の実際＞ 清潔保持と清掃 洗剤による清浄法 洗い場の構造と清潔保持 清掃、刈り取った毛の処理
第24回		
第25回	テスト	後期テスト
第26回		テスト 問題の解答と解説
第27回	国家試験対策	総まとめ、模擬試験による演習
第28回		
第29回		
第30回		
第31回		

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	%	定期試験	%
	小テスト	%	レポート	%

開校年度	2019年度	学科	美容科
科目名	衛生管理技術(消毒法)	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	30時間	履修期	2年次
担当教員	半井 智子		
授業目的	美容業は不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れるため、器具や種子などの消毒法は重要な技術であることから消毒を実施する意義を十分に理解し、適切な消毒を実施する方法を身に付ける。		
到達目標	美容師国家試験「衛生管理技術」の合格を目指す。美容師の社会責任、職業倫理への理解。		
授業方法	講義		

	授業計画	授業内容
第1回	導入	衛生管理技術を学習する目的 濃度計算の基礎問題と解説
第2回	第1章 消毒法総論	<美容技術の業務と消毒との関係> 関係法規 消毒を怠った場合の危険と美容師の責任
第3回		<美容技術の業務と消毒との関係> まとめ
第4回		<消毒とは> 消毒法の歴史 病原性微生物と日病原性微生物 病原性微生物の種類と構造 消毒の原理
第5回		<消毒とは> まとめ
第6回		<消毒の意義> 汚染、感染、発病、と消毒の意義 消毒、滅菌、殺菌、防腐の定義 <消毒の意義> まとめ
第7回		<消毒法と適用上の注意> 消毒法の種類 消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力
第8回		消毒薬・消毒薬使用駅の使用、保存上の注意点 <消毒法と適用上の注意> まとめ
第9回		第2章 消毒法各論
第10回	<理学的消毒法> まとめ	
第11回	<化学的消毒法> アルコール類による消毒、次亜塩素酸ナトリウム による消毒	
第12回	テスト	前期テスト
第13回		テスト 問題の解答と解説

	授業計画	授業内容
第14回	第2章 消毒法各論	界面活性剤(逆性せっけん、両性界面活性剤)による消毒
第15回		グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬 <化学的消毒法> まとめ
第16回		<すぐれた消毒法とその実施上の注意> 優れた消毒法の条件 消毒御行う際の注意事項 <すぐれた消毒法とその実施上の注意> まとめ
第17回	第3章 消毒法実習	<各種消毒薬> 消毒薬の概要 器具の使い方 常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度
第18回		消毒薬希釈法 <各種消毒薬> まとめ
第19回		
第20回		<美容所の消毒の実際> 美容所における消毒の原理 美容所の消毒設備 美容器具の消毒法 美容師の手指の消毒 その他のものの消毒 美容所の消毒設備の現状 <美容所の消毒の実際> まとめ
第21回		<美容所の清潔法の実際> 清潔保持と清掃 洗剤による清浄法 洗い場の構造と清潔保持 清掃、刈り取った毛の処理
第22回		
第23回		
第24回		
第25回	テスト	後期テスト
第26回		テスト 問題の解答と解説
第27回	国家試験対策	総まとめ、模擬試験による演習
第28回		
第29回		
第30回		
第31回		

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	%	定期試験	%
	小テスト	%	レポート	%
開校年度	2025年度		学科	美容科
科目名	香粧品化学 I	実務経験のある教員等の授業		-
授業時間	33		履修期	1学年
担当教員	亀井 光佐		授業形式	講義
授業目的	香粧品の成り立ちや原料について、その定義、社会的意義や特性、法定な根拠、製剤の安定性も含めた安全性について学ぶ。また、美容業の実務において使用されるシャンプー剤やパーマ剤に代表される香粧品の効能とその成分について、特徴と危険性を学ぶ。			
到達目標				

評価方法	出席状況80%以上が単位取得の前提となる。 試験(定期試験、レポート)を総合的に評価、60点以上で単位認定。
------	---

成績評価	出席	10%	定期試験	80%
	小テスト		レポート	10%

	授業計画	授業内容
第1回	第1編 香粧品総論	第1章 香粧品総論
第2回		香粧品とは
第3回		香粧品と造形、基本的な使用プロセス
第4回		第2章 香粧品を使用する際に気をつけるべきこと
第5回		香粧品の使用による症状、香粧品の定義と法規制
第6回		香粧品の安全性と安定性
第7回		第3章 香粧品の成り立ち
第8回		第3章 香粧品の成り立ち
第9回		水と親水性溶媒
第10回		水と親水性溶媒
第11回		油性原料
第12回		油性原料
第13回		界面活性剤
第14回		界面活性剤
第15回	前期試験	
第16回	第1編 香粧品総論	第3章 香粧品の成り立ち
第17回		高分子化合物
第18回		高分子化合物
第19回		色材
第20回		色材
第21回		香料
第22回		香料
第23回		製品を安定させる配合原料
第24回		製品を安定させる配合原料
第25回		その他の機能性配合原料
第26回	第2編 香粧品各論	第1章 スキンケア製品
第27回		香粧品の効果と使用プロセス
第28回		クレンジング用香粧品
第29回		クレンジング用香粧品
第30回		コンディショニング用香粧品
第31回		トリートメント用香粧品
第32回	1年生後期試験	
第33回	第2編 香粧品各論	第2章 メイクアップ製品 メイクアップ製品の種類と剤形
第34回		ベースメイクアップ香粧品

開校年度	2025年度	学科	美容科
科目名	香粧品化学Ⅱ	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	26	履修期	2学年
担当教員	亀井 光佐	授業形式	講義
授業目的	香粧品の成り立ちや原料について、その定義、社会的意義や特性、法定な根拠、製剤の安定性も含めた安全性について学ぶ。また、美容業の実務において使用されるシャンプー剤やパーマ剤に代表される香粧品の効能とその成分について、特徴と危険性を学ぶ。		
到達目標			

評価方法	出席状況80%以上が単位取得の前提となる。 試験(定期試験、レポート)を総合的に評価、60点以上で単位認定。
------	---

成績評価	出席	10%	定期試験	80%
	小テスト		レポート	10%

	授業計画	授業内容
第1回	第2編 香粧品各論	ポイントメイクアップ香粧品
第2回		アイメイクアップ製品 まつ毛ケア製品
第3回		ネイルメイクアップ製品、ネイルケア製品
第4回		第3章 ヘアケア、ヘアメイクアップ
第5回		スカルプケア製品
第6回		ヘアクレンジング用香粧品
第7回		ヘアコンディショニング用香粧品
第8回		ヘアスタイリング料
第9回	前期試験	
第10回	第2編 香粧品各論	第3章 ヘアケア、ヘアメイクアップ
第11回		スカルプケア製品
第12回		パーマ剤
第13回		ヘアカラー製品
第14回		スカルプケア製品
第15回	後期試験	
第16回	総復習	ワークブックを活用した総復習
第17回		ワークブックを活用した総復習
第18回		ワークブックを活用した総復習
第19回		ワークブックを活用した総復習
第20回		ワークブックを活用した総復習
第21回	国試対策	過去問を活用した国試対策講座
第22回		過去問を活用した国試対策講座
第23回		過去問を活用した国試対策講座
第24回		過去問を活用した国試対策講座
第25回		過去問を活用した国試対策講座
第26回		過去問を活用した国試対策講座
第27回		過去問を活用した国試対策講座

開校年度	2025年度	学科	美容科
科目名	保健 I	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	48	履修期	1学年
担当教員	清水 一美	授業形式	講義
授業目的	1. 人体の解剖生理を学ぶことで、自分の身体に興味をもつことができる。 2. 教科書の内容を自身の身体に合わせ理解することができる。		
到達目標			

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	10%	定期試験	80%
	小テスト		レポート	10%

	授業計画	授業内容
第1回	1.カラダの成分分析	細胞組成
第2回	2.カラダのホメオスタシス	
第3回	3.毛細血管	
第4回	4.消化	
第5回	5.カラダの区分け	・部位別
第6回		頭部、頸部、体幹部、四肢
第7回		・機能別 その1
第8回		骨格系、筋肉系、内臓系
第9回		・機能別 その2
第10回		神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系、感覚器系
第11回	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	
第12回	第2章 骨格系	
第13回	第3章 筋系	
第14回	第4章 神経系	
第15回	第5章 感覚器系	
第16回	第6章 血液と免疫系	
第17回	第7章 循環器系	
第18回	第8章 呼吸器系	
第19回	第9章 消化器系	

開校年度	2025年度	学科	美容科
科目名	保健Ⅱ	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	47	履修期	2学年
担当教員	清水 一美	授業形式	講義
授業目的	1. 人体の皮膚及び付属器官の解剖生理を学ぶことで、自分の身体に興味をもつことができる。 2. 教科書の内容を自身の身体に合わせ理解することができる。		
到達目標			

評価方法	出席状況、試験(小試験、定期試験)を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------

成績評価	出席	10%	定期試験	80%
	小テスト		レポート	10%

	授業計画	授業内容
第1回	第1章 皮膚の構造	
第2回	第2章 皮膚及び付属器官の構造	
第3回	第3章 皮膚の神経	
第4回	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
第5回	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健	
第6回	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	
第7回	国試対策	